

ヨコハマ SDGs デザインセンター 株式会社 JTB 横浜支店と連携始動！ SDGs をテーマとした中高生向け教育研修旅行プログラムを開発



ヨコハマ SDGs デザインセンター（以下「デザインセンター」という。）は、株式会社 JTB（以下「JTB」という。）と連携し、JTB 横浜支店が窓口となり、横浜市内外の中高生向け SDGs 教育研修プログラムづくりをパイロットプロジェクトと位置付け、社会科見学から修学旅行などに対応できるプログラムを開発しました。

当プログラムには、横浜市内に事業所を持ち、SDGs の取組を進めているデザインセンターの会員企業・団体にもご協力いただき、中高生が、各企業・団体で行われている実際の取組について探究し、担当者から直接学びそして自ら考え、振り返りを行うことで、SDGs を「実感・体感」してもらうことを目指します。また、同時に横浜の魅力を感じてもらい、教育研修旅行以降も、横浜に観光などで来訪してもらうことで、将来的な経済活性化にもつなげていきたいと考えています。

この件について、デザインセンターが記者発表しましたので情報提供します。

SDGs 未来都市・横浜



お問合せ先

温暖化対策統括本部SDGs未来都市推進課担当課長

田村 康治

Tel 045-671-2477



報道関係者各位

令和3年12月7日
ヨコハマ SDGs デザインセンター

株式会社 JTB 横浜支店と連携始動！ SDGs をテーマとした 中高生向け教育研修プログラムを開発

ヨコハマ SDGs デザインセンター（以下「デザインセンター」という。）は、株式会社 JTB（以下「JTB」という。）と連携し、JTB 横浜支店が窓口となり、横浜市内外の中高生向け SDGs 教育研修プログラムづくりをパイロットプロジェクトと位置付け、社会科見学から修学旅行などに対応できるプログラムを開発しました。

当プログラムには、横浜市内に事業所を持ち、SDGs の取組を進めているデザインセンターの会員企業・団体にもご協力いただき、中高生が、各企業・団体で行われている実際の取組について探究し、担当者から直接学びそして自ら考え、振り返りを行うことで、SDGs を「実感・体感」してもらうことを目指します。また、同時に横浜の魅力を感じてもらい、教育研修旅行以降も、横浜に観光などで来訪してもらうことで、将来的な経済活性化にもつなげていきたいと考えています。

さらなるプログラムの充実を図るべく、デザインセンターでは、横浜市内に事業所等があるデザインセンターの会員企業・団体で、「中高生向けに、工場などの見学ができる施設をお持ちの方」、「特別なプログラムをお持ちの方」、「最先端技術を紹介できる施設やプログラムをお持ちの方」のうち、本プログラムの趣旨にご賛同いただき、SDGs 達成に向けて積極的な取り組みを行っている事業者も募集しております。是非、ヨコハマ SDGs デザインセンターまで問い合わせいただければと思います。

■横浜市内外の中高生向け SDGs 教育研修プログラムの概要

- 1 デザインセンターと JTB 横浜支店が、旅マエから旅アトまでの一貫したプログラムを学校側に提供
- 2 事前に SDGs のテーマを設定し、当日訪問する企業や団体について探究をしていたく（旅マエ）
- 3 当日、横浜観光と併せ、デザインセンターの会員企業が提供する各種プログラムを受講、体感していただく（旅ナカ）
- 4 旅マエ、旅ナカで学んだ内容の振り返りを行っていただく（旅アト）



※プログラムに参加いただくデザインセンター会員企業・団体については、生徒の受入れに関わる経費に対する補助としてプログラム提供料が支払われます。



* JTB 横浜支店は中高生向けのプログラム開発もお手伝いいたします。

お問い合わせ先
■当該プロジェクトの概要について ヨコハマ SDGs デザインセンター 総合コーディネーター 麻生：contact@yokohama-sdgs.jp ■教育研修プログラムについて 株式会社 JTB 横浜支店 TEL：045-316-2353

2021年12月7日

SDGs・キャリア教育・探究学習の要素を盛り込んだ

『ヨコハマ探究学習プログラム』を共同開発

株式会社 JTB は、ヨコハマ SDGs デザインセンターと連携し、これからの社会を生きる中高生を対象とした社会に繋がる学びの機会を提供する『ヨコハマ探究学習プログラム』を開発しました。

本プログラムは JTB 横浜支店が窓口となり、全国の中学校、高等学校などから依頼を受け付け、提供を開始しています。

■『ヨコハマ探究学習プログラム』トライアル授業風景



※生徒が発表に向けて議論している様子



※生徒が企業に向けて発表している様子

【トライアル授業に対する先生からのコメント】

- ・企業で働く方のお話を生徒と一緒に聞くことで、教員側にも学びがあった。
- ・社会に繋がる学びを提供している学校としての PR に繋がると感じた。
- ・将来を考えることの出来る生徒を育てることで、大学進学や就職のアンマッチ低下が期待できると感じた。
- ・訪問企業の社員全員がプロフェッショナルで、それぞれの仕事について生き生きとご説明してくださるので生徒たちも食い入るように聞いていると感じた。

■プログラムの概要

『ヨコハマ探究学習プログラム』は、各企業が取り組む SDGs(2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標)をテーマとし、チームの知恵を活かした企業に向けた発表や企業訪問など、生徒が近い将来に社会へ出ていく上で必要な生きる力を得る学びを提供するプログラムです。企業の伝えたいことを一方的に学ぶだけではなく、自ら考えて発表し、企業で働く大人たちからフィードバックを貰うことで、生徒の記憶に残る気付きを生み出すことが出来ます。

「自分なりの答えを導く大切さ」「理想だけではうまくいかない社会」「困難を乗り越えてきた大人」を知り、人と人が手を取り合う事の大切さや、自分の興味分野を深めることの大切さに気付きを生み出します。SDGs を通じた社会に繋がる学びが、正解のない社会を生きる力につながるキッカケになることを期待しています。

旅マ工(学校)	旅ナ力(現地)	旅アト(現地)
基礎学習 自らの頭で考える探究の時間	生徒の仮説検証 実地体験	振り返り アクション宣言

学校で行う事前学習と、現地に赴く実地体験により
自らの頭で考え仮説検証を行う探究過程を実現！

■プログラム開発の背景

(1)学習指導要領の改訂と学習機会の課題

2021 年から中学校にて、2022 年には高等学校にて学習指導要領が改訂されます。

新しい学習指導要領では、社会の変化に対応するための生きていく能力や資質を身につけ、より主体的かつ対話的で深い学びが求められます。

教育現場では SDGs 学習やキャリア教育など、これまでの学習指導要領には無かった新たな学びの場が求められる一方、その学習機会はまだまだ少ないのが現状です。

また、新型コロナウイルスの影響で修学旅行が中止や延期となり、限られた授業時間の中で新しい学習指導要領に即した具体的な学習機会を模索している学校が多くあります。

(2)ヨコハマ SDGs デザインセンターの設立

横浜市では、全国でも先駆けた取り組みとして「ヨコハマ SDGs デザインセンター」を設立し、市内における多様な SDGs の取り組みが積極的に推進されています。

「ヨコハマ SDGs デザインセンター」は、横浜市と民間事業者が共同で設立・運営する組織で、SDGs の達成に向けて、市内外の多様な主体が持つニーズとシーズをつなぎ合わせ、横浜における環境・経済・社会的課題を解決するための中間支援組織です。

■プログラムの内容

(1)対象

・校外学習や修学旅行にて、横浜・首都圏へ来訪される/来訪を検討されている全国の中学校および高等学校

(2)プログラム参画企業

- ・株式会社大川印刷
- ・シーバイエス株式会社
- ・武松商事株式会社
- ・株式会社横浜八景島

(3)プログラム費用

・プログラム費用に関しては、下記の問い合わせ先または近隣の JTB の教育旅行お取り扱い個所にお問い合わせ下さい。

【ヨコハマ SDGs デザインセンターホームページ】

<https://www.yokohama-sdgs.jp/>

■今後の展開

株式会社 JTB とヨコハマ SDGs デザインセンターは、今後も多くの学校のニーズに応えるために、参画企業を増やしていく予定です。このような取り組みを通して、教育現場の新たな学びに対して柔軟に対応し、学びの価値を高める機会を提供してまいります。

※本件に関するニュースリリースがヨコハマ SDGs デザインセンターからも発信されています。

■学校・教育機関からのお問合せ先(プログラムに関して)

JTB 横浜支店 TEL:045-316-2353 (9:30~17:30 土日祝休)

■企業からのお問合せ先(ご参画に関して)

ヨコハマ SDGs デザインセンター 総合コーディネーター 麻生:contact@yokohama-sdgs.jp

■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 TEL:03-5796-5833(東京) 06-6260-5108(大阪)